

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
基 金 積 立 金	9,243,944	1,962	0	9,245,906
合 計	9,243,944	1,962	0	9,245,906

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に対 応する額)
特 定 資 産				
基 金 積 立 金	9,245,906	(0)	(9,245,906)	(0)
合 計	9,245,906	(0)	(9,245,906)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建 物	1,189,965	1,009,523	180,442
什 器 備 品	1,927,960	1,897,959	30,001
合 計	3,117,925	2,907,482	210,443